

京都市における水素エネルギーの普及に向けた取組 ～燃料電池自動車「ミライ」を活用した有料カーシェアリング事業～

京都市 環境政策局 地球温暖化対策室 エネルギー事業推進課長 仲北 好宏
タイムズモビリティネットワークス株式会社 アーバンモビリティ営業本部 関西支店長 福田 一郎
パーク24株式会社 モビリティ研究所 秋田 基行



1. 背景と目的

京都市では利用段階で温室効果ガスの排出がなく将来のエネルギーとして中心的な役割を担うことが期待される「水素エネルギー」の普及拡大に取り組んでいます。

普及活動の1つとして、燃料電池自動車(以下「FCV」という。)による 市民等を対象とした有料のカーシェアリング(レンタカー)を実施し、気軽にFCVを体感いただく機会を提供することにより、水素エネルギーへの理解向上や購買意識醸成等を図りました。

2. 取組の内容

実施概要

通常のレンタカーと同様に御利用いただける、全国初のFCVを活用した本格的な有料カーシェアリング事業(レンタカー事業)をタイムズモビリティネットワークス株式会社のレンタカー店舗にて実施しました。貸出対象車両はトヨタ「ミライ」(4人乗り)3台を用いて、走行距離や居住地等の基本データおよび利用後アンケートの取得を行い、パーク24株式会社が利用実態について解析を行いました。

未来の車をいち早く体感!
燃料電池自動車のレンタルを実施!

CO₂排出量ゼロ!!

水素で走る!!

乗客の快適さ

【予約】お問い合わせ先
タイムズカーレンタル 京都新幹線口店
TEL:075-681-7779

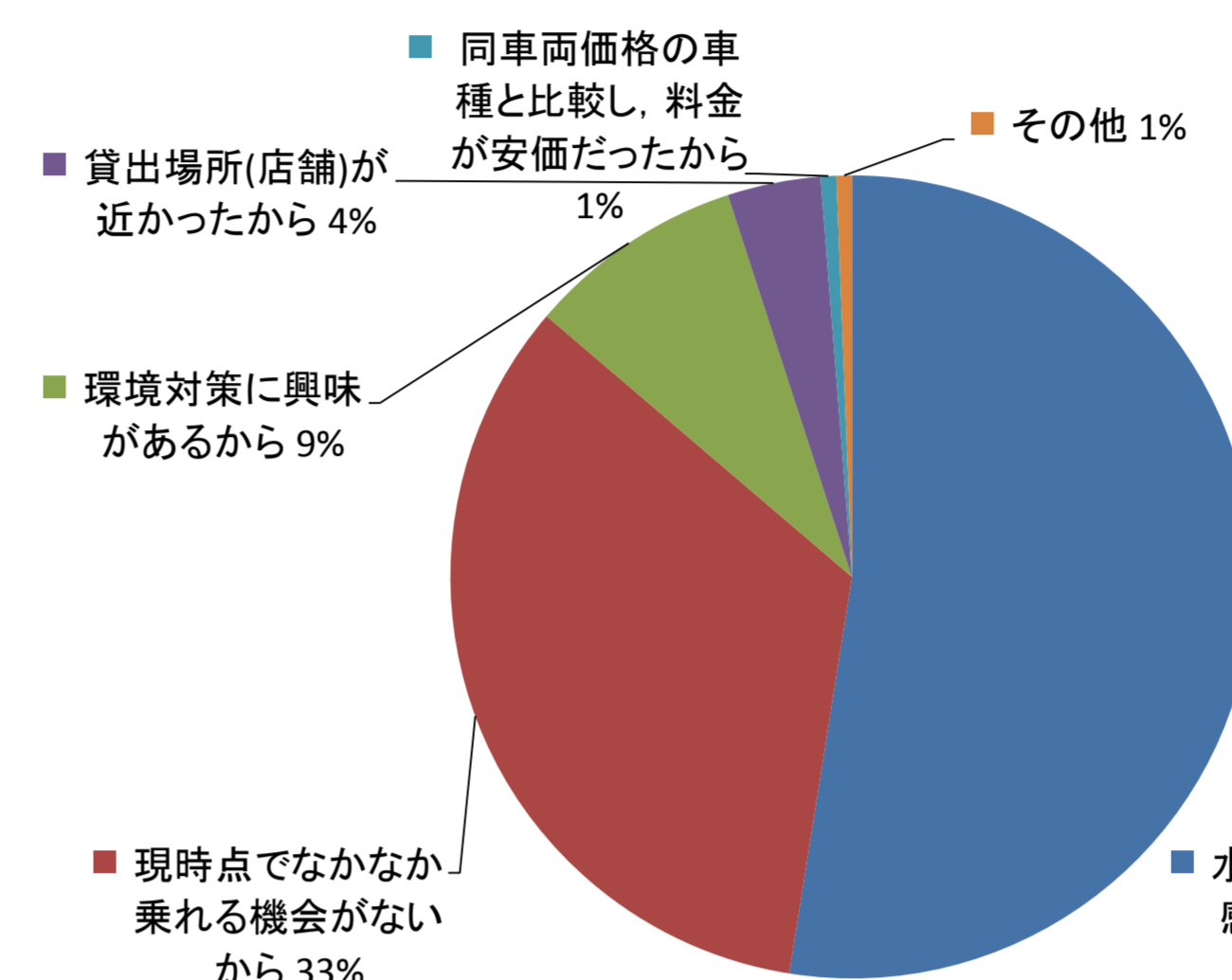
タイムズカーレンタル 京都新幹線口店
周辺水素ステーション MAP

0 大塚ガス 上烏羽水素ステーション
0 ENEOS Dr. Driveセルフ豊川店
0 水素ステーション(充電場所)の増設

4. 利用者の声(アンケート結果)

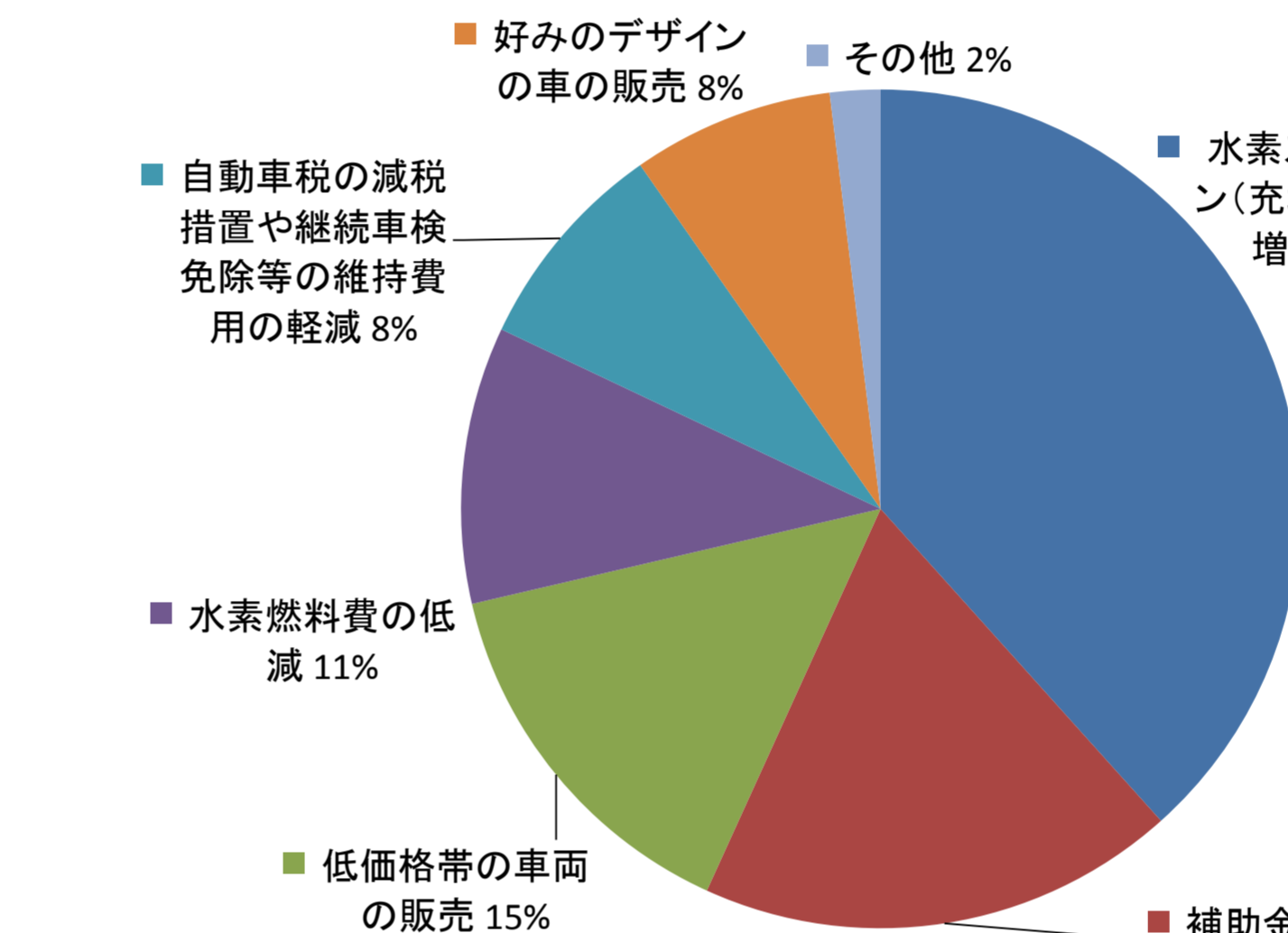
利用後アンケートの回収率は利用者の協力もあり100%でした。自由回答欄含め、項目の一部の結果について、下記に記載します。

申込理由



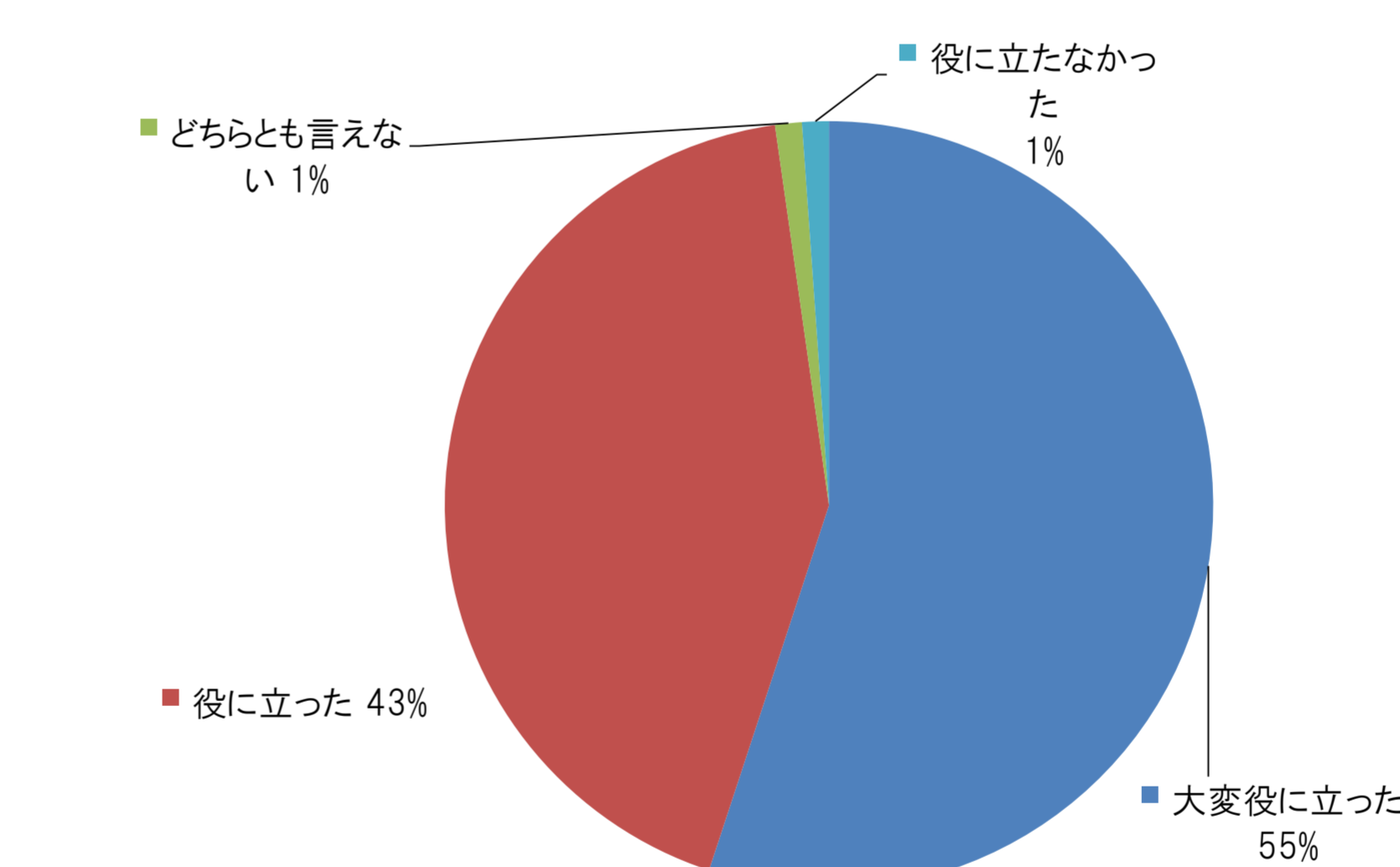
- 「水素で走る車を体感」が52%と最も高く、次いで、「希少性」となりました。
- 「環境対策への興味」及び「価格」、「店舗立地」は申込理由になり難い結果となりました。

どのような取組があればFCVを購入したいと思うか。



- 「水素ステーションの増設」が最も多く、次いで、「補助金等の購入補助」及び「低価格帯の車両の販売」となりました。

本事業はFCV及び水素エネルギーの理解を深める上で役に立ったか



- 「大変役に立った」又は「役に立った」が98%となりました。

広報活動

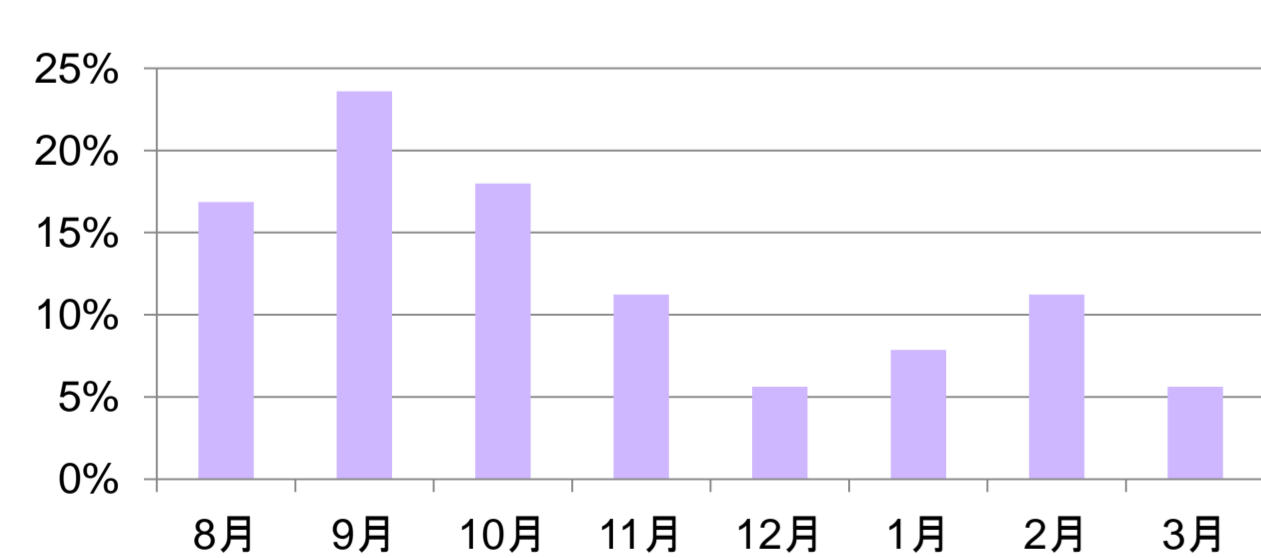
| 項目 | 内容 |
|-------------|--|
| Web媒体、紙媒体 | 京都市HP、タイムズカーレンタルHPへの掲載。チラシ・ポスターを店舗や公共施設等に配下・掲示。のぼりを貸し出し店舗に設置 |
| メールマガジン | タイムズクラブ(※)会員向や事業者団体等にメールマガジンを発行 |
| 燃料代0円キャンペーン | 平成29年1月16日～平成30年3月24日までの貸出時に充填されている燃料代のみ無料のキャンペーンを実施 |
| イベントへの出店 | 近隣商業施設や地域のイベントにブースを設け事業紹介を実施 |

(※)タイムズクラブとはパーク24株式会社が運営するクルマを運転する皆様にお得で便利なサービスを提供する入会金・年会費無料の会員制サービスです。

3. 利用実績と利用者属性

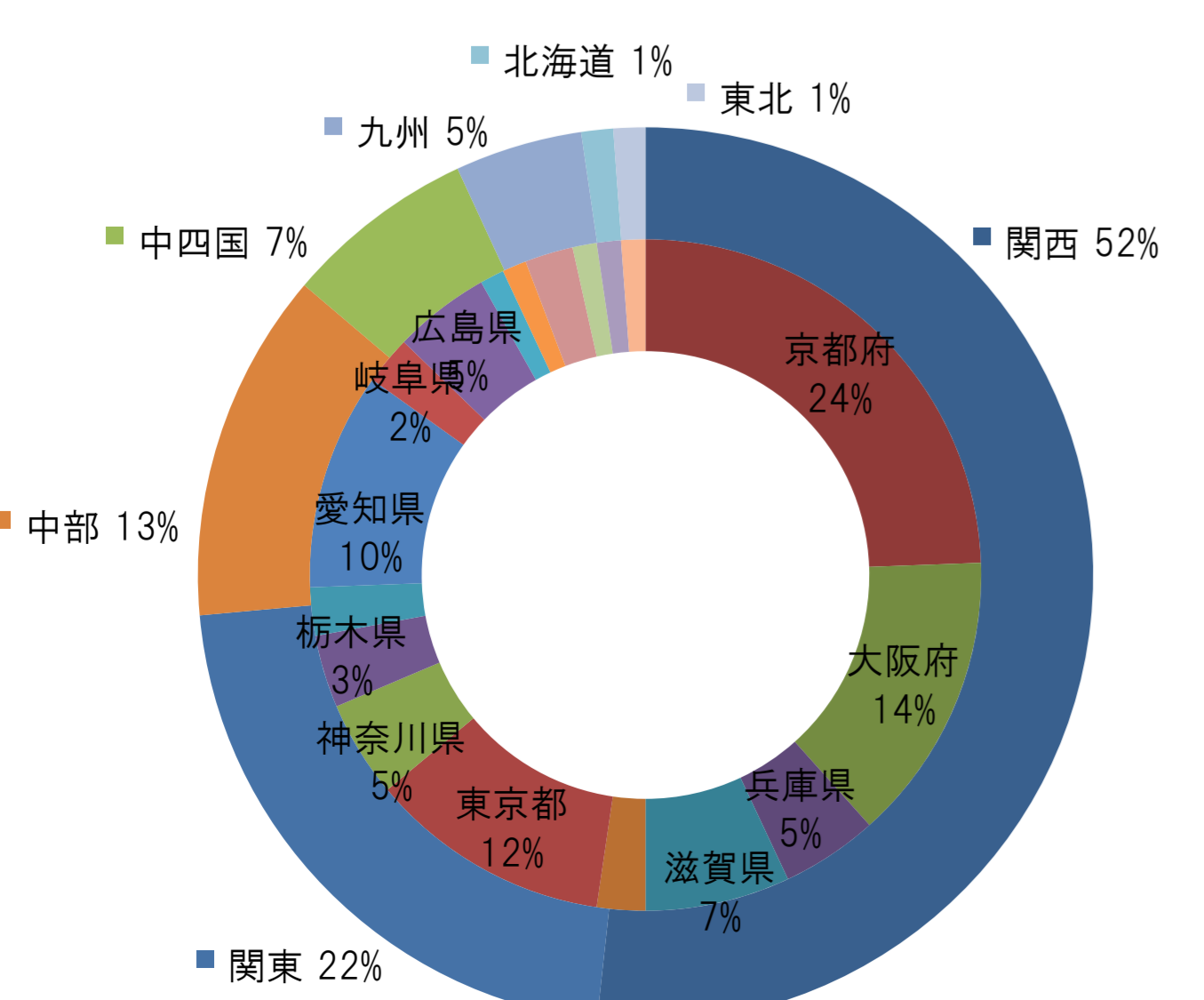
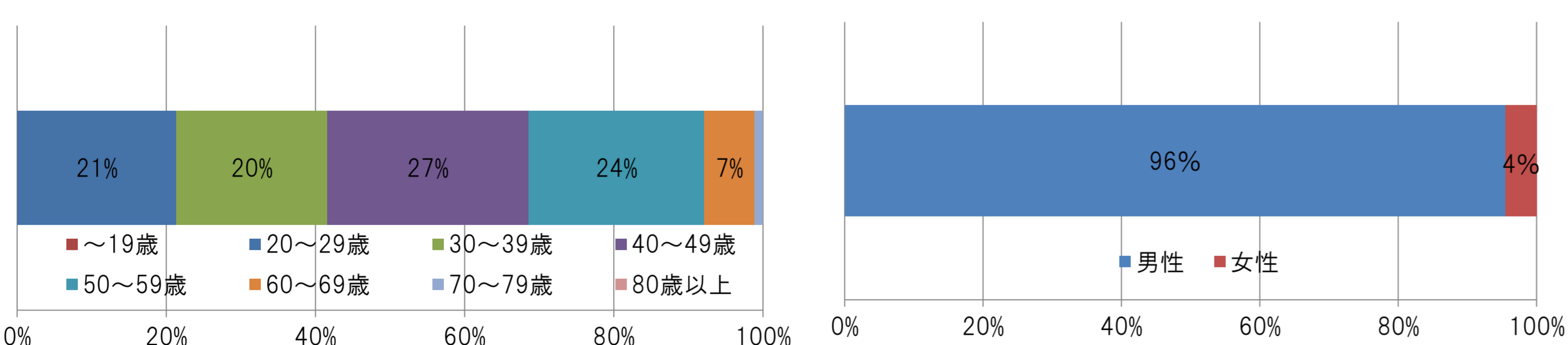
月別利用割合

実施期間:2016年8月10日～2017年3月24日



- 事業開始直後は、広報活動もあり多くの方に御利用頂きましたが、年末に掛けて利用が伸び悩みました。そのため、年始より燃料無料キャンペーンを行い利用拡大策を実施しました。

利用者属性



- 通常のレンタカー利用に比べ20代と50代が多く、結果として幅広い年齢の方に御利用いただきました。
- 居住地別では、関西圏が多いものの、関東を中心に全国の方に御利用いただきました。

5. 結論と今後の取組

結論

- アンケート結果から本事業の目的である「燃料電池自動車及び水素エネルギーへの理解向上」は十分達成できたと言えます。
- 利用実績から遠方や宿泊を伴う利用など通常のレンタカーとして利用されており、FCVはガソリン車と比べてもそんな色なく活用できることが分かりました。
- FCVの普及は車両の低価格化や水素ステーションの増設による所が大きい事が分かりました。

総論

- 利用後アンケートから希少性の高い車両を自治体が媒介し、市民等に貸出すことは市民サービスとして非常に意味のある取組であるとの声を頂きました。つまり、「水素エネルギー」の普及のような大きな問題には、水素関連事業者のみならず、地方自治体の積極的な取組が重要です。また、単年度に終わらず継続して普及活動に取り組むことも併せて必要であると考えます。

今後の取組

- 平成29年度も事業を継続しています。また、より多くの方に御利用頂くために料金の改定を行いました。
- 免責補償無料キャンペーン(※)など、新たなプロモーションも実施し、「水素エネルギー」の普及に向けて取り組んでいきます。

(※)免責補償無料キャンペーンとは通常、有料でご提供している免責補償コースを無料でご提供するキャンペーンの事です。